

○インスペクターからのコメント（59回）

今後の展開は、こちらが関与できないところもありますが、われわれとしてどういう面で配慮したかということをはっきりと持ち、これから考えていきましょう。ここでのホタルへ配慮した対策が、地球環境への寄与にもつながる面もあるので、様々なことを考慮していく必要があるのだと思います。



大竹
インスペクター

様々な意見がある中で、地域にとってどういう事になっていくかということを、客観的に考えていければよいと思います。地域にとっての道とはどういうものが必要なのか、自然を守るにはどういう事を考えたらいいか、ということをお大切にしましょう。



藤田
インスペクター

価値観の変わり目だからこそおこる、形はどう変えていくのかというトライアルがこの道づくりだと感じます。日本だけでなく世界中で起こってくる問題のさきがけであり、全部現場で検証して答えを導き出してきた、その過程はこの活動の強みだと思います。この活動は、今後も必ずプラスに働き、次につながるという自信があります。



長谷川
インスペクター

◇フィールドワーク

切土法面の植生回復

ヒノキの間伐材を使って、2号橋東側の切土法面に植生回復の場を試験的につくりました。斜面での作業で地盤も固く、少し難しい作業でしたが、想定した形状でつくることが出来ました。今後、相生山のヤマツツジの苗などを移植していきます。



ヤマツツジ

《相生山緑地の道路建設に係る学術検証委員会》

平成22年2月1日（月），“第1回相生山緑地の道路建設に係る学術検証委員会”が開催されました。詳細については名古屋市公式ウェブサイトでご覧いただけます。

【第1回会議の開催結果について】

<http://www.city.nagoya.jp/shisei/jyoho/jyoho/suishin/kaigikoukai/kaigikeka/>

【会議の開催について】

<http://www.city.nagoya.jp/shisei/jyoho/jyoho/suishin/kaigikoukai/kaigioshirase/>

第2回委員会は名古屋市公式ウェブサイトで公開されているとおり、3月2日（火）午前10時から、名古屋市役所正庁（本庁舎5階）で開催されます。

中部大学の
山下学長が委員長に
選出されました



各専門分野の委員の方々が、今後の検証の進め方について話し合いました

問い合わせ先

名古屋市 緑政土木局 道路部 道路建設課内 「環境に配慮した道づくり」施工ワーキング事務局
〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号

電話：052-972-2864 FAX：052-972-4168

<http://www.city.nagoya.jp/shisei/jigyokeikaku/douro/kankyo/>